

2017・2019 年度岩木健康増進プロジェクト健診に ご参加いただいた皆様へ

下記の研究に用いるため、皆様の情報を利用させていただきますので、お知らせいたします。

研究課題名： 脳内炎症と認知機能低下の関連の検討

研究の目的

これまで我々は脳内炎症と術後せん妄、一般住民におけるうつ病について研究・報告を行ってきました。本研究では、脳内炎症に関連すると考えられている炎症性マーカー、特に白血球マーカー（好中球リンパ球比、血小板リンパ球比など）、尿中 8OH-dG、および神経保護作用のある尿酸値の値が一般住民における認知機能障害に関連するかを検討することを目的とします。

研究実施期間： 2023 年 9 月 6 日 ～ 2024 年 3 月 31 日
(倫理審査委員会承認日)

対象となる方： 2017・2019 年の岩木健康増進プロジェクト健診に参加された方

利用させていただきたい試料・情報について

以下の情報を研究責任者である木下 裕貴の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2021-030, 2020-046-4）」において 2017・2019 年に取得された以下のデータ

個人記録票（性別、年齢、身長、体重、腹囲、血圧）

健康調査票（家族構成、配偶者、最終学歴、既往歴、薬物服用状況、労働状況、生活習慣（喫煙、飲酒、運動、睡眠））

血液検査 ※項目詳細は別紙 1。

尿中 8OH-dG

身体組成（筋肉量、脂肪量、内臓脂肪レベル）

動脈硬化度（baPWV：脈波伝播速度、ABI：足関節上腕血圧比）

MMSE

握力、立ち上がりテスト、2 ステップテスト、10m 最大歩行時間

SF36

具体的には、MMSE27 点をカットオフとして認知機能低下群と正常群の 2 群に分類し、年齢や身長、体重、既往歴などに加えて健康調査票データ、血液・尿検査等のデータを Mann-Whitney U 検定やカイ二乗検定等の単変量解析および多変量ロジスティック回帰分析等を用いて検討し、認知機能低下の関連する因子の検討を行います。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2021-030, 2020-046-4）」で収集し、加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「**情報利用提供停止願い**」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない方／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院 集中治療部 助教・木下 裕貴 住所 〒036-8562 青森県弘前市在府町 5 電話 0172-39-4286 Email hirotakak@hirosaki-u.ac.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205

検査データ（別紙1）

白血球数、Neutro、Stab、Seg、Lympho、Mono、Eosino、Baso、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、HbA1c、血清血糖、総ビリルビン、AST、ALT、 γ -GTP、TP、Alb、クレアチニン、尿素窒素、尿酸、総コレステロール、HDL-Cho、LDL-Cho、TG、ナトリウム、カリウム、FT4、FT3、TSH、CPK、LDH、ALP、高感度CRP、尿中8OH-dG